

PACオーケストラ

リサイタルシリーズ

楽団内オーディションで選ばれたメンバーによる特別リサイタル!

Bassoon

Cellos



バスーン
菅原 早由吏
Sayuri Sugawara

チェロ
佐々木 賢二
Kenji Sasaki

チェロ
エリナ・ファスキ
Elina Faskhi

チェロ
トマ・シャルトル
Thomas Chartre

デュビュイ
バスーン五重奏曲 イ短調
Edouard Dupuy: Quintet for Bassoon,
2 Violins, Viola, Violoncello

0.ベルク
めまい Olav Berg: Vertigo

ヴィラ=ロボス
7つの音の輪舞曲
(弦楽五重奏版)
Heitor Villa-Lobos: Ciranda das sete
notas for Bassoon and String Quintet

ドツァウアー
**3本のチェロのための
6つの小品 op.104より**
Friedrich Dotzauer: 6 Pieces for 3 Cellos,
op.104 (excerpts)

ゴリホフ
オマラモール
(演奏:トマ・シャルトル)
Osvaldo Golijov: Omaramor

オッフェンバック
協奏的大二重奏曲 op.34-1 フィナーレより
(演奏:佐々木賢二、エリナ・ファスキ)
Jaques Offenbach: Grand Duo Concertant for 2 Cellos,
op.34-1, Finale (excerpts)

ポッパー
レクイエム op.66
(チェロとコントラバスによる六重奏版)
David Popper: Requiem, op.66,
for 5 Cellos and Contrabass

2018. **6/27** (水) 開演2:00PM 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
(開場1:30PM) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売 **3/18** (日) **1,000円** (全席指定/税込)

芸術文化センター会員先行予約受付開始 **3/16** (金)
※窓口での販売は**3/20** (火)より(残席ある場合のみ)

電話予約 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM 月曜休 ※祝日の場合翌日) インターネット予約 <http://www.gcenter-hyogo.jp>

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

お問合せ / 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 ©主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



PACオーケストラ リサイタルシリーズ

楽団内オーディションで佐渡芸術監督に選ばれたPACメンバーによる「リサイタルシリーズ」。今回は、4名のメンバーが登場です！

ドイツで研鑽を積み、昨年9月に入団したバスーン菅原早由吏は、独奏曲とPAC弦楽メンバーを携えたアンサンブルを通じて、普段あまり馴染みのないソロとしてのバスーンの魅力をたっぷり披露。

次に登場するのは、今シーズン、フォアシュピラーを務めるチェロの3名。入団1年目、高校から渡米し腕を磨いた佐々木賢二と、同じく1年目、カナダ出身、パリ国立音楽院にて学んだトマ・シャルトル、祖国ロシアのモスクワ音楽院で学んだ2年目のエリナ・ファスキが、独奏や二重奏、さらにチェロとコントラバスを加えた六重奏まで、大小様々なアンサンブルをご覧に入れます。

日頃オーケストラ内では見ることのないメンバーのソリストとしての一面を、じっくりとお楽しみください！



バスーン 菅原 早由吏

Sayuri Sugawara, Bassoon

Message

私にとって初めてとなる関西でのリサイタルを、ここ西宮で、また尊敬し信頼するPACオーケストラのメンバーと共に演奏できることを本当に光栄に思います。弦楽器とファゴットのあたたかくエレガントな響きをお楽しみください。

2013年東京藝術大学卒業、ヤマハ新人演奏会出演。DAADドイツ政府奨学金を給付され渡独。ザールブリュッケン音大大学院にてギヨム・サンタナ氏に師事、2016年首席で卒業。これまでにSWR放送響研修生、マグデブルク歌劇場契約団員を務めた他、ザールブリュッケン放送響、ルクセンブルクフィル、ゲルトナーブラッツ歌劇場、シュトゥットガルト室内管、レ・ディソナンス室内管、N響、都響、東京フィル、名古屋フィルなどに客演。



チェロ 佐々木 賢二

Kenji Sasaki, Cello

Message

今回のリサイタルシリーズに選ばれ、本当に光栄です。そして楽しみにしています！フランス語圏のカナダ人王子、ロシア人の女王、そして日本人の“通訳”という性格も弾き方も全く違う3人を中心にチェロの魅力を存分にお楽しみ頂けると思います！

6歳よりチェロを始める。06年単身渡米。インターロックン・アーツ・アカデミー、イーストマン音楽院卒業。クリーブランド音楽院にて修士課程修了。日野俊介、クリスピン・キャンベル、アラン・ハリス、ステイブン・ゲーバー、岩崎洗の各氏に師事。ヨーヨー・マ、ダニール・トリフォノフと共演。レナード・スラットキン、リッカルド・ムーティ等の指揮のもと首席で演奏。ファイアランド・シンフォニー・オーケストラ、シカゴ・シビック・オーケストラ各首席。



チェロ エリナ・ファスキ

Elina Faskhi, Cello

Message

チェロだけの演奏会なんて退屈？それは間違いです！チェロがどれほど美しい音楽を奏でられるか、ご覧に入れましょう！優雅さや大袈裟なまでのバロック感、それにポッパーの超絶技巧、華麗な旋律、そして深く澄んだ思考は、最高に楽しめることでしょう。幸せを感じたり悲しくなったり…でも、がっかりさせることは決してありません！

10歳からチェロを始める。モスクワ音楽院にてイーゴリ・ガヴリッシュ氏に師事。スヴェトラノフ記念ロシア国立交響楽団他オーケストラに多数出演。ロシアとヨーロッパの各地でソロやアンサンブルを多数演奏。ヴォルフガング・エマニュエル・シュミット、イヴァン・モニゲッティ、アントニオ・メネセス、ヴォルフガング・レディック各氏のマスタークラス参加。サラトフ（ロシア）で開催された第1回クヌシェヴィツキー国際コンクール優勝。



チェロ トマ・シャルトル

Thomas Chartre, Cello

Message

エリナ、賢二と共に、ここ、兵庫県立芸術文化センターでのリサイタルに出演できることを、心から嬉しく思います。ゴリホフの〈オマラモール〉は、幅広い感情と色彩感、そしてゴリホフの故郷であるアルゼンチンを想起させるサウンドを持つ作品です。この作品を演奏できることが本当に楽しみです。

モンテリオール音楽院とハーグ王立音楽院を優秀な成績で卒業。ニューイングランド音楽院、並びにパリ国立高等音楽院にて修士号取得。30歳以下の最も優秀な音楽家に贈られるシルヴァ・ゲルバー賞を2度受賞他多数受賞。マイケル・ストラウス、ロラン・ビドゥー、ポール・カッツ、ルイス・クラレット、ピーター・ウィスベルウエイの各氏に師事。Canimex社より貸与された1815年製ジョアンニ・パティスタ・チェルーティのチェロとマルセル・フェティークの弓を使用。



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中！

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

